



クラブを成功に導く リーダーシップ

奉仕プロジェクト委員会編

2016-19年度版

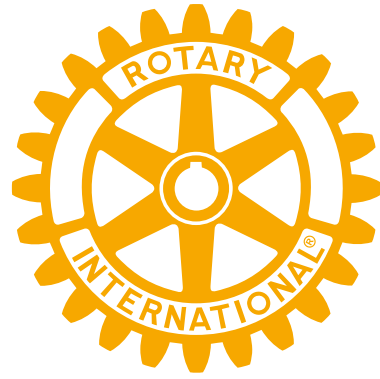




「クラブを成功に導くリーダーシップ：奉仕プロジェクト委員会編」
(2015年版) は、2016-17年度、2017-18年度、2018-19年度のクラブ奉仕プロジェクト委員長用です。この手引きに収められた情報は、ロータリーの定款と方針文書に基づいています。詳しい方針については、これらの文書を直接ご参照ください。定款と方針文書に変更が加えられた場合、その変更が優先されます。

目次

奉仕プロジェクト委員長の仕事	1
1 委員会の役割	5
奉仕プロジェクトを実施する	5
ロータリーが力を入れている分野	6
活動資金を集める	7
万一に備えた危機管理	8
2 委員長の役割	11
委員の人選と準備にあたって	11
目標と行動計画を立てる	12
予算	12
3 リソース	13
補遺	
1: 青少年との活動におけるリスク管理	17
考えてみよう (地区研修・協議会の前に)	19



奉仕プロジェクト 委員長の仕事

奉仕プロジェクト委員長の役割は、地域社会の真のニーズに応える奉仕プロジェクトの実施を助けることです。「[クラブを成功に導くリーダーシップ:奉仕プロジェクト委員会編](#)」には、奉仕プロジェクト委員会と委員長の仕事が詳しく説明されています。

責務

すべての委員会に共通

地区研修・協議会に出席する。

会長エレクトを協力して委員の人選と研修を行う。

必要に応じて小委員会を設ける（職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕、ファンドレイジングなど）。

定期的に委員会会合を開き、活動を計画する。

クラブ目標を支える委員会目標を立て、目標に向けた委員会の活動状況を随時確認する。

委員会予算を管理する。

クラブのほかの委員会と協力する。複数クラブでの合同活動において地区委員会と協力する。

委員会の活動状況について、会長、理事会、クラブ全体に報告する。

そのほかにクラブが委員会に割り当てている役割を担う。

奉仕プロジェクト委員会

プロジェクトを計画、実施、評価する。

地域社会でのクラブの存在感を高めるような看板プロジェクトを検討する。

プロジェクトの効果を最大限に高めるため、他団体、ボランティア、委員と協力する。

プロジェクトのための資金調達を行う。

クラブのプロジェクトや活動に関連する賠償責任について理解する。

広報委員会と協力してプロジェクトの広報を行う。

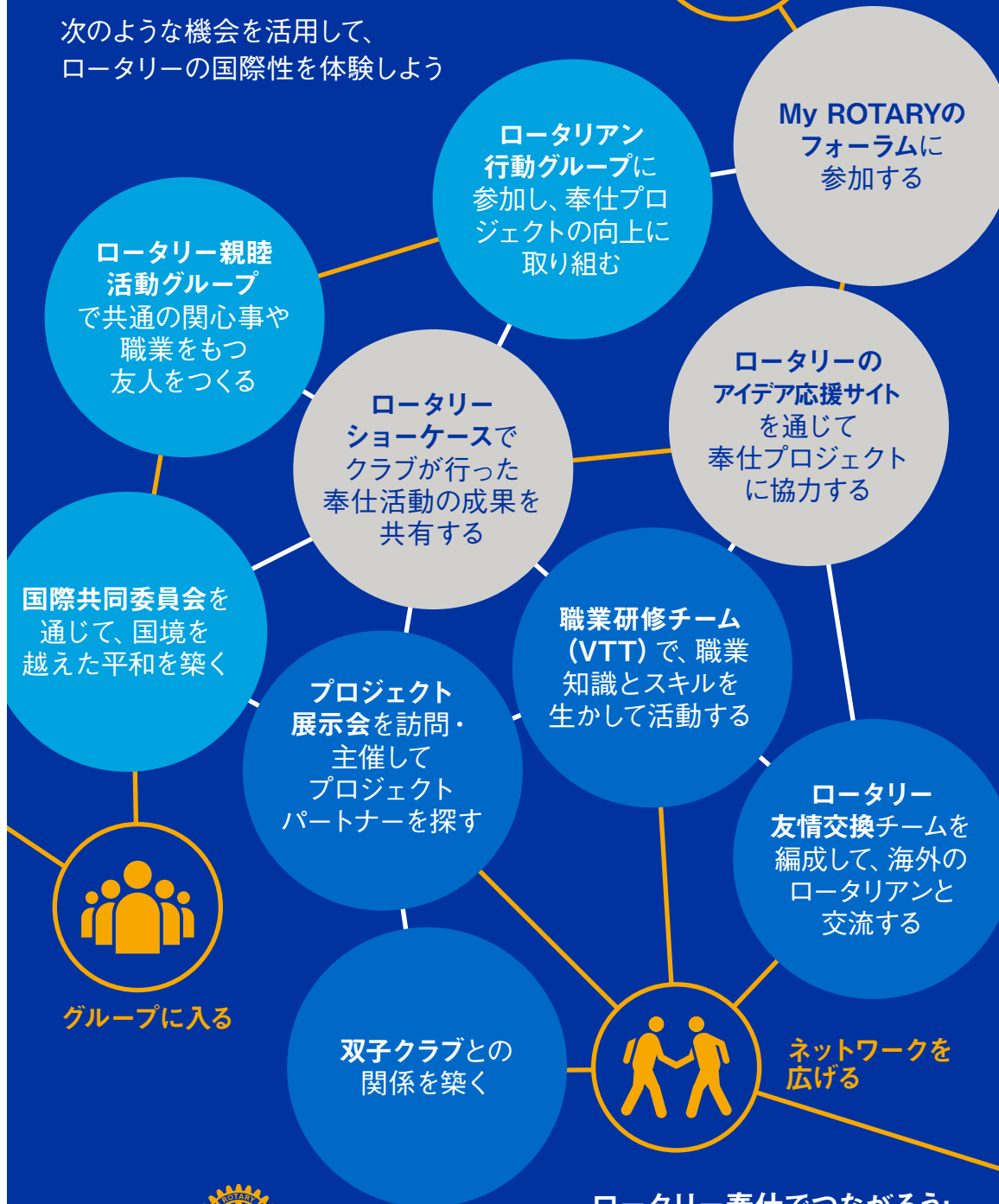
ほかのクラブとの合同プロジェクトを実施する。

つながろう！



オンライン
でつながる

次のような機会を活用して、
ロータリーの国際性を体験しよう



ロータリー奉仕でつながろう：
www.rotary.org/myrotary/ja

はじめに



本手引きの第1部(委員会の役割)を委員にお渡しください。

クラブ奉仕プロジェクト委員会の役割は、地域社会の重要なニーズに応える奉仕活動の実施を助けることです。この手引きには、委員会の役割、クラブが守るべきロータリーの方針と手続き、委員会活動のアイデアなどが収められています。

地区研修・協議会では、クラブリーダーの役割と責務について学び、他クラブの委員長や地区リーダーと情報やアイデアを交換する機会があります。地区研修・協議会に先立ち、19～20ページの問いについて考えておきましょう。

お問い合わせ

委員長の役割に関するご質問は、ガバナー補佐または奉仕プロジェクト委員長経験者に尋ねることをお勧めします。さらに不明な点がある場合は、[国際ロータリーのクラブ・地区支援担当職員](#)にお問い合わせください。ロータリーウェブサイト (Rotary.org) にも役立つ情報が掲載されています。

この手引きを含む研修資料についてのご質問は、下記までお問い合わせください。

国際ロータリー研修・開発チーム

Eメール：learn@rotary.org

あなたのクラブは「元気」ですか？



「元気なクラブづくりのために」の手引きには
以下の内容が紹介されています

- 日本の活気あるクラブの紹介
- アイデア「クラブでやってみよう」
- My ROTARYから利用できるリソース



shop.rotary.org から
ご注文ください

Rotary 

委員会の役割



世界中のロータリークラブは、それぞれの地域で草の根の奉仕活動をしています。奉仕プロジェクト委員会は、クラブの奉仕活動の計画、広報、資金調達、実施、評価などのとりまとめ役となります。

活動にあたっては、さまざまな人と協力しましょう。

- ロータリアンとその家族や友人
- 地域団体
- ローターアクター
- ロータリー学友
- インターアクター、青少年交換学生、RYLA参加者
- ロータリー地域社会共同隊 (RCC)
- ほかのロータリークラブ
- ロータリアン行動グループとロータリー親睦活動グループ

奉仕活動への参加を通じて、地域の人びととの交流や新しい友人との出会いがあります。奉仕活動にはできるだけ多くの会員に参加してもらいましょう。

奉仕プロジェクトを実施する

奉仕プロジェクト委員会は、**限りある資金と会員の知識や経験を生かし、地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクト**を企画、実行します。実行スケジュールを立て、成果を具体的に測るための基準を定め、利用できるリソースや手段を書き出してみましょう。以下の計画と実施のステップを参考に、クラブに合った方法で奉仕プロジェクトを実施してください。

1. 現状を把握する

効果的な奉仕プロジェクトとは、地域社会の真のニーズに取り組むものです。ニーズ調査を行って地域の現状を調べ、クラブが取り組むことのできるニーズを特定しましょう。

2. プロジェクトを選ぶ

ニーズ調査の結果を基に、実施するプロジェクトを決めます。地域社会の人びとからのサポートや参加の有無、クラブの活動経験、必要な資金と人材、実施期間、成果の持続可能性なども考慮に入れます。

3. 計画を立てる

目標を設定し、活動計画と予算を立てます。また、万一のための賠償責任保険への加入についても検討しておきましょう。必要に応じ、募金などを通じて活動資金を調達します。

4. プロジェクトを実行する

計画に沿って活動が行われるよう監督します。クラブ広報委員会と協力して広報を行い、ロータリーのイメージ推進にもつなげます。

5. プロジェクトを評価する

活動で成功した点と改善点を検討し、次のプロジェクトに生かします。

奉仕プロジェクトの実施に関する詳細は、「[活動する地域社会：効果的なプロジェクトのための手引き](#)」をご参照ください。

ロータリーが力を入れている分野

プロジェクトを計画する際は、以下のロータリー優先分野に当てはまる活動を選びましょう。

- 重点分野
 - － 平和と紛争予防／紛争解決
 - － 疾病予防と治療
 - － 水と衛生
 - － 母子の健康
 - － 基本的教育と識字率向上
 - － 経済と地域社会の発展
- 五大奉仕部門：クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕

会員をはじめ、他クラブ、他団体、地域社会の人びとと協力し、多くの人の専門知識や経験を生かすことによって、さらに充実したプロジェクトを実施できるでしょう。

さまざまな方法で活動のパートナーを探すことができます。

- 地区ロータリー財団委員長または地区プログラム委員長に連絡を取る
- 地区行事や国際行事で他クラブのロータリアンと交流する
- [ロータリーアイデア応援サイト](#)、[ロータリーショーケース](#)などのサイトを利用する
- 他クラブの訪問やロータリー友情交換を通じて海外のロータリアンと知り合いになる
- ソーシャルメディアを通じてロータリアンのネットワークを広げる
- [Rotary.orgのプロジェクトの流れ（ライフサイクル）](#)のページを参照する

ロータリーにおける奉仕活動の機会

ロータリーには活動に参加できるさまざまな機会があります。以下の機会について会員に伝えましょう。

ポリオプラス：全世界でのポリオ撲滅を目指すロータリー組織全体のプログラム

インターアクト：12～18歳の青少年が参加する奉仕クラブ。

新世代交換：30歳までの若者が海外で奉仕活動を行ったり、職業研修を受けるための交換。

ローターアクト：18～30歳の大学生や若い社会人が参加する奉仕クラブ（地元ロータリークラブが提唱）。

ロータリアン行動グループ：世界中のロータリー会員、ロータリーファミリー（プログラム参加者、学友など）がメンバーとなり、特定の専門分野において国際プロジェクトを実施・支援するグループ。

ロータリー地域社会共同隊（RCC）：ロータリー会員以外の人から成る奉仕グループ（地元ロータリークラブが提唱）。

ロータリー親睦活動グループ：同じ趣味や職業的関心を持つ世界中のロータリー会員、配偶者、ローターアクト会員から成るグループ。

ロータリー友情交換：会員とその家族が海外を訪問して友好を築くための交換プログラム。交換を通じて将来のプロジェクトパートナーが見つかることもある。

ロータリー平和センター：平和と紛争解決の分野で修士号または専門修了証を取得できる教育プログラム。平和センターで学ぶ学生にフェローシップ（奨学金）を提供。

ロータリー青少年交換：15～19歳の青少年が海外に滞在（長期または短期）して国際理解と平和を促進するプログラム。

ロータリー青少年指導者養成（RYLA）プログラム：青少年、大学生、若い社会人がリーダーシップスキルを伸ばすための研修プログラム。

ロータリー補助金：地元や海外で人道的活動や教育支援を行うクラブや地区が利用できる。

活動資金を集める

活動資金を調達する必要がある場合は、ロータリー財団委員会と協力して募金を募りましょう。プロジェクトを実施できるかどうかは、このような募金行事の成功にかかっています。以下の手順をご参照ください。

1. **目標額を決める**。活動に必要な額を定め、この目標額に相応しい募金行事を検討します。
2. **予算を立てる**。クラブの予算から使える資金も考慮に入れ、募金行事の経費と予測収入を計算します。

3. **必要な人員を考える。**募金行事の計画と実行に必要な人数を決めます。
4. **諸手配を整える。**行事の日時と会場を選びます。
5. **資金管理を徹底する。**支出の記録方法をあらかじめ決め、できれば行事専用の口座を開設します。また、資金の用途をクラブと寄付者に報告します。
6. **行事の運営ボランティアを募る。**会員の役割を決め、地元の人にも協力してもらいます。必要であれば実行委員会を結成します。
7. **行事の周知と広報を行う。**地域の人びと（特に行事に参加してもらいたい人がいる場合には、そのような人びとに的を絞って）への広報を計画します。可能であれば、メディア（報道機関）とも協力します。
8. **行事を実施する。**運営にかかわった人に簡単なアンケートを配って行事のよかった点や改善点を書いてもらい、後日の評価に役立てます。
9. **ボランティア、寄付者、スポンサーに感謝する。**募金に協力してくれた人にお礼状、写真、感謝状などを送ります。
10. **行事の反省・評価を行う。**行事から学んだことを記録し、次回の参考とします。
11. **行事の継続性を保つ。**新しい会計担当者や実行委員会の新メンバーに行事の記録や評価結果を伝えます。

詳しくは、Rotary.orgの[募金に関するページ](#)をご参照ください。

他クラブに支援を求める際の留意点：公式名簿を商業的なマーキングリストとして使用したり、営利目的でほかの人や団体に提供することはできません。また公式名簿は、著作権で保護されています。いかなる団体も、経済的支援やボランティア支援を求めるためにロータリークラブにダイレクトメールを送ることはできません。この方針について会員にお伝えください。

商用以外で他クラブに連絡を取る場合、以下の点にご留意ください。

- 他クラブに協力を求める前に、その地区のガバナーに連絡の目的を伝え、承認を得てください。ただし、1クラブがほかの1クラブに連絡を取る場合は、ガバナーの承認は必要ありません。
- 他クラブやその会員に経済的支援を直接お願いする場合は、事前にRI理事会の許可を得る必要があります。

万々に備えた危機管理

会員、参加者、クラブを守るためにプロジェクト実施に伴うリスクを最小限に抑えるのも、奉仕プロジェクト委員会の役割です。プロジェクトを計画する際は、以下の3つの点を考慮に入れてください。

- どのような問題が起こりうるか
- 問題が生じた場合、委員長とクラブはどのように対応するか
- 損害が生じた場合、どのように賠償するか

リスクが高い場合は、以下を検討しましょう。

- 活動・行事を取りやめる
- リスクを最小限に抑えるために、活動・行事に変更を加える
- 問題が生じた場合に備え、対応プランを立てておく
- 同意の上、ともにリスクを負担してくれる他団体を探す

いかなる同意も、署名入りの契約書を交わすことを強くお勧めします。損害賠償の問題が生じた際に備え、同意事項を書面で記録しておくことが重要です。契約書には双方の役割と責務を明確に記し、どのような責任を負うか（または負わないか）を定めた条項も加えましょう。後になって責任を問われるケースもあるため、法的書類をプロジェクト終了後も保存するようにしてください。

クラブの賠償責任や保険については、専門家のアドバイスを受けておきましょう。クラブ（またはプロジェクト）の法人化や賠償責任保険への加入により、万一の事態に備えることができます。米国内のクラブには国際ロータリーにより自動的に手配された保険がありますが、米国外のクラブにはそれがありません。まだ保険に加入していない場合は、保険加入をご検討ください。プロジェクトで海外渡航する場合は、旅行保険も必要となります。詳しくは、[手続要覧](#)をご参照ください。

Rotary.orgのラーニングセンターから、青少年との活動に関するコースをぜひご利用ください。

青少年保護について: プロジェクトに青少年が参加する場合、成人ボランティアの身元調査、選考、研修などを行い、青少年の保護対策を十分に整える必要があります。詳しくは、[ロータリー青少年交換プログラムと未成年の旅行に関する青少年保護方針](#)、補遺1の「[青少年との活動におけるリスク管理](#)」をご参照ください。

ロータリー標章の使用について: 奉仕活動では、クラブ名を目立つ場所に表示し、クラブによる活動であると一目でわかるようにしましょう。またロータリーのロゴと歯車も正しく表示する必要があります。標章の使用やガイドラインについて詳しくは、[「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドライン](#)、[ブランドリソースセンター](#)、[手続要覧](#)をご参照ください。

“学び”の可能性 を広げるロータリーの ラーニングセンター

- コースを受講する
- 参考資料を探す
- 国内外のロータリアンと意見交換する
- 自分のプロフィールを作成し、利用状況を確認する

補助金、ロータリー活性化、戦略計画、会員増強など、ロータリーに関するさまざまなトピックに関するコースが用意されています

ラーニングセンターについて詳しくは www.rotary.org/myrotary/ja をご覧ください



委員長の役割



委員長は、リーダーシップを発揮して、目標達成に向けた委員会の活動を効果的に導く必要があります。前任委員長からアドバイスを受け、クラブの細則と戦略計画に目を通した上で、会長エレクトと協力して空席となっている委員を人選し、次年度の委員会運営方針を立てましょう。

委員の人選と準備にあたって

多くのクラブでは、委員の任期を**3年**とし、それぞれの就任年度をずらして任命しています。これは、経験豊かな委員と新しい委員の両方を委員会に含めて継続性を保つことが目的です。委員を選ぶ際には、以下のような適性を考慮に入れましょう。

- 地域開発や奉仕活動の経験
- 国際関係の知識、海外旅行の経験
- ボランティアの経験

委員長は、必要に応じて責務の一部を委員に委任できます。**各委員のスキルや知識、経験、関心**が生かせる責務を割り当てましょう。以下のような形で委員の研修を行うことができます。

- 前年度から継続される委員会活動と目標を伝える
- 経験豊かな委員（再任の委員）が新しい委員を指導する
- ほかのクラブの奉仕プロジェクト委員会と情報やアイデアを交換する
- 地区が実施する研修や会合に出席する
- 参考資料を渡す（または資料を紹介する）

委員会同士が連携し、クラブ全体の目標を達成することが重要です。ほかの委員会と調整を図って活動の重複を避け、必要に応じて互いを補いあいましょう。委員会間の話し合いを理事会会合で行うこともできます。

目標と行動計画を立てる

明確な目標がなければ、行動計画は立てられません。クラブの力と会員の関心を考慮に入れた上で、クラブの戦略計画を支えるような目標を立てましょう。目標は、測定可能かつ達成可能で、取り組み甲斐のある具体的な目標とすることが重要です。また、達成の期日をあらかじめ決めておきましょう（例：「100人以上のボランティアが参加し、地元住民300人に奉仕する持続可能なプロジェクトを2件実施する」など）。

地区研修・協議会では、次年度の会長やほかのリーダーとともに、クラブ目標を立てます。クラブの目標は、会長か幹事がロータリークラブ・セントラルに入力することになっています。

目標を立てたら、委員と一緒に**行動計画**を立てましょう。行動計画は、（委員会目標よりも）小さめの目標と達成に必要な実行項目を挙げ、以下の項目を含めます。

- 完了期日
- 実行担当者
- 成果と進捗を測る方法
- 利用可能なリソース（資料、人材、資金など）と入手が必要なリソース

行動計画の実行状況を定期的に確認し、必要であれば目標を調整しましょう。

委員長として、委員の**モチベーションを喚起**することが重要です。営利企業とは異なり、ロータリーでの役職はすべてボランティアであることを念頭に置く必要があります。

- 目標達成の意義と重要性を十分に説明する
- 目標は達成可能であることを強調し、励ます
- 委員会活動を通じて親睦や知り合いの輪を広げる
- 委員の経験や知識を生かす
- 委員会の活動が楽しいものとなるようにする

予算

就任に先立ち、前任の委員長および会計とともに、委員会活動に必要な資金を検討し、次年度のクラブ予算に盛り込んでもらう必要があります。

就任中は、委員会資金の使途と報告を監督し、予算内で活動するよう常に気を配りましょう。予算面での問題が生じそうな場合は、会計に相談してください。

リソース



クラブ、地区、事務局からの支援

- 地区ガバナー：クラブの効果的な運営についてアドバイスします。
- ガバナー補佐：少なくとも四半期に1度クラブを訪問し、質問に答え、アドバイスを提供します。
- 地区内のほかのクラブの委員長：連絡を取り合い、情報交換や合同活動を行うことができます。
- 委員長経験者と元クラブリーダー：次年度の委員会活動の計画を援助します。
- ロータリーコーディネーター：クラブの会員増強や会員の積極的参加を促す方法について、アドバイスや情報を提供します。
- クラブ・地区支援担当職員：クラブと地区からの問い合わせ窓口となる国際ロータリーの職員。日本には、国際ロータリー日本事務局クラブ・地区支援室があります。ロータリー世界本部（米国イリノイ州エバンストン）の職員もクラブに支援を提供します。

方針と参考資料

- 手続要覧：規定審議会、RI理事会、ロータリー財団管理委員会によって定められた国際ロータリーとロータリー財団の方針と手続きを掲載した資料。3年ごとに規定審議会後に発行されます。
- ロータリー章典とロータリー財団章典
- 推奨ロータリークラブ細則
- 標準ロータリークラブ定款

オンラインのリソース

- [Rotary.org](#) (ロータリーのウェブサイト) : クラブのリーダーに役立つ情報、資料、ツールが満載されています。Rotary.orgの会員向けサイト「**My ROTARY**」からは、ロータリーの研修資料、推進資料 (クラブのパンフレットやポスターなど) 作成ツール、クラブ運営や募金に役立つ情報をご利用いただけます。

行動する

- [ロータリーショーケース](#): 完了したプロジェクトを紹介できるサイトです。
- [アイデア応援サイト](#): プロジェクトのアイデアを探したり、パートナー、ボランティア、物資、寄付を募る (または提供する) のに便利なサイトです。

ラーニング&参考資料

- [ラーニングセンター](#)ロータリーや役職に関する情報を学べる各種コースが用意されています。
- [公式名簿](#): RIと財団の役員、委員会、支援グループ、事務局職員の連絡先、全世界の地区ガバナーの連絡先に加え、全世界のクラブの連絡先と例会情報が地区ごとにアルファベット順に掲載されています (毎年発行)。
- [賞・表彰](#): ロータリーの賞・表彰の機会について説明しています。



運営する

- [Shop.rotary.org](#): ロータリーの資料、DVD、書式、用品などが注文できるオンラインショップです。
- [クラブの運営](#): 会員リスト、役員とクラブの情報などをRotary.orgで管理できます。
- [ブランドリソースセンター](#): カスタマイズ可能なクラブのパンフレットやポスターのテンプレートやロータリーのロゴがダウンロードできます。

参考資料

- [活動する地域社会：効果的なプロジェクトのための手引き](#)：奉仕プロジェクトを立案、実施、評価するための参考資料です。
- [ロータリーの重点分野ガイド](#)：6つの重点分野について説明し、各分野におけるプロジェクトのアイデアを紹介しています。
- [地域調査の方法](#)：地域社会で効果的なプロジェクトを見つける方法を説明しています。
- [新世代奉仕入門](#)：ロータリーの新世代プログラム（インターアクト、ローターアクト、青少年交換、青少年指導者養成プログラム [RYLA]）、青少年保護、学友活動について概説した資料です。
- [職業奉仕入門](#)：職業奉仕に関連する情報、リソース、プロジェクトのアイデアを紹介しています。
- [インターアクト要覧](#)：インターアクトクラブを結成、運営するための参考資料です。
- [ローターアクト・ハンドブック](#)：ローターアクトクラブを結成、運営するための参考資料です。
- [Rotary Community Corps Handbook \(RCCハンドブック、英語のみ\)](#)：リーダーの育成、プログラムのアイデアなど、事例研究を交えてRCCに役立つ情報を紹介しています。
- [ロータリー親睦活動要覧](#)：ロータリー親睦活動グループを結成、推進するための参考資料です。
- [ロータリー青少年指導者養成プログラム](#)：クラブや地区が、青少年のリーダーシップスキルを伸ばすイベントを企画するために役立つ参考資料です。
- [青少年交換要覧](#)：ロータリー青少年交換プログラムを推進するための参考資料です。
- [標準ロータリークラブ定款](#)
- [ロータリー章典とロータリー財団章典](#)：RI定款と細則に準じ、RI理事会とロータリー財団管理委員会が定めた方針と手続きを収めています。
- [ロータリー財団参照ガイド](#)：ロータリー財団のプログラムと関連リソースを簡潔に紹介した資料です。
- [元気なクラブづくりのために：クラブ・リーダーシップ・プラン（日本版）](#)：「いいクラブ」から「素晴らしいクラブ」となるためのアイデアを紹介しています。
- [ロータリーリーダー](#)：クラブと地区のリーダー向けに隔月で発行されるオンラインニュースレターです。
- [ロータリーの雑誌](#)：ロータリーの月刊誌で、『The Rotarian』（英語）と[世界に30種ある地域雑誌](#)（日本は『ロータリーの友』誌）があります。
- [「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイド](#)：クラブと地区が作成するロータリー資料のデザインや、ロータリー標章（ロゴを含む）の適切な使用に関するガイドラインが収められています。
- [戦略計画立案ガイド](#)：クラブが将来のビジョンを描き、年次目標と長期目標を立てる上で役立つ簡単なワークシートと説明が収められています。
- [ロータリーのニュースレター](#)：会員増強、ポリオ撲滅、広報、ロータリー財団といったトピック別にニュースレターが発行されています。

補遺1: 青少年との活動におけるリスク管理

青少年との活動は、地域社会とロータリーの将来のリーダー育成につながります。これは将来への「投資」といえますが、この投資は責任ある活動を通じてこそ実を結ぶものです。世界にはさまざまなリスクや危険があり、その中で青少年プログラムを実施する際は細心の注意が必要です。ここでいうリスク管理とは、けが、病気、虐待など、**青少年との活動に伴うリスクを十分に理解しておくことで、リスクを避け、その影響を最小限に抑える**ことを意味しています。青少年との活動を計画する際は、以下を考慮してください。

- 肉体的、性的、精神的な虐待および嫌がらせに対処するための青少年保護方針をクラブで立案、導入する。虐待や嫌がらせの報告があった場合は、これを直ちに地区リーダーと地元警察に報告する手続きを整えておく。方針の詳細や要件については、地区に問い合わせのこと。
- 参加者（成人および青少年）の行動規範を確立する。この規範をつくる際は、法律・条令、文化、地区とクラブの方針に加え、青少年保護のベストプラクティス（効果的な事例）を盛り込むようにする。
- クラブの方針が、地区の方針ならびにRI理事会が各プログラムごとに定めた方針に沿ったものとなるようにする。
- 危機的な状況（またはその可能性がある場合）では、迅速に対応できるよう、地区リーダーと常に連絡を取るようになる。
- 青少年プログラム／行事を計画する場合、以下の点をあらかじめ決めておく：
 - けが人が出た場合、どのように対応するか？
 - 参加者から不適切または危険な行為があったと報告された場合、どのように対応するか？
 - プログラム／行事中に自然災害が起こった場合、どのように対応するか？
- リスクを最小限に抑えるために…
 - 地区の方針やベストプラクティスにならい、ボランティア参加者の事前審査や研修を行う
 - 青少年にとって安全な環境をつくるためのふるまいについて、参加者に説明・研修する
 - 災害非常時の対応を考え、予行演習や避難訓練を行う
 - 十分な賠償責任保険に加入しておく

未成年が地元外を旅行・訪問する場合は、地区と連絡を取った上、青少年の旅行に関する指針がすべて守られていることを確認してください。青少年の受け入れや旅行に関する責務が、海外のロータリー組織に委ねられる活動（ロータリー青少年交換など）は、国際ロータリーから参加認定を受けた地区の承認と監督の下で実施されなければなりません。

国によって、健康保険の多くは海外旅行／海外滞在中の補償範囲が限られます（またはまったく補償がありません）。このため、参加者は、加入中の健康保険と生命保険で十分な補償が得られることを証明する必要があります。新たに旅行保険に加入する場合は、医療費の支払い、遺体の本国送還、緊急避難、事故死と四肢切断に対する補償があるものを選ぶとよいでしょう。クラブと地区は保険会社に連絡を取り、現在加入契約している保険が青少年プログラムの補償に十分なものであるかどうかを必ず確認してください。

また、クラブがほかの青少年支援団体と契約を結ぶ場合は、事前に弁護士と相談するよう推奨されています。このような契約には、免責、損失肩代わり、補償の契約が含まれていることがあり、当事者の責任を免除し、クラブや地区にその責任を転嫁する場合があります。国際ロータリーは、参加者および主催者のいかなる疾病、けが、あるいは物的損害に対しても一切責任を負わないことにご注意ください

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。

考えてみよう (地区研修・協議会の前に)

地区研修・協議会への出席に備えて、以下の問いについて考えてみましょう。現・次期クラブリーダーの考えやアイデアも聞いてみるとよいでしょう。

奉仕プロジェクト委員会の責務は何ですか。委員長の責務は何ですか。

奉仕プロジェクト委員会はクラブのどの目標を支えますか。

地域社会の真のニーズに応えるために、どのようなプロジェクトを実施できるでしょうか。

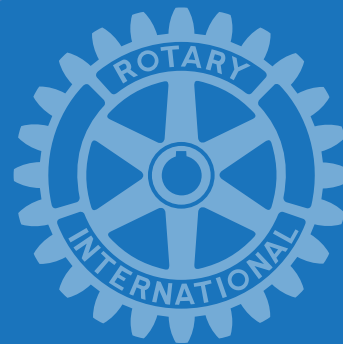
プロジェクトの活動資金を調達するために、どのような募金活動ができるでしょうか。

奉仕プロジェクト委員長として、どのような責務を委員に委任しますか。委員をどのようにサポートしますか。

クラブが恒例で実施している看板プロジェクトは何ですか。

看板プロジェクトは、クラブのビジョンや戦略計画に沿ったものですか。

ロータリークラブ・セントラル 計画を立て 進捗を確認し 目標を達成しよう



ロータリークラブ・セントラルの メリット



多くのデータを一つの場所で管理
できる



地球に優しい



リーダーシップの継続性を促す



クラブの進捗を確認できる



透明性を保つ



世界全体のロータリー活動の影響
を把握できる

ロータリークラブ・セン トラルを利用するには？

ウェブサイト (www.rotary.org/clubcentral) から開くことができ
ます。

誰が利用できますか？

ロータリーアンなら誰でも、自分のク
ラブの目標と達成状況を確認できま
す。クラブの現・次期会長、幹事、事
務員、会計、財団委員長、会員増強
委員長は、情報を入力、編集するこ
とができます。



One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org